

## 平成30年度 小平市立小平第十二小学校 学校評価計画表

### 学校教育目標

○明るく元気でたくましい子    ◎よく考えすすんで実行する子    ○たがいになかよくする子

### 目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 ・子どもが生き生きと力いっぱい活動する学校 ・学びの場にふさわしい教育環境の整った学校 ・家庭地域に理解され、協力を得て信頼される学校  
・教職員が互いに高め合い、協働する学校 ・児童、教職員、保護者、地域が誇りにできる学校
- 【目指す児童・生徒像】 ・かかわり合い、磨き合い、輝き合う、笑顔あふれる子ども
- 【目指す教師像】 ・よいところをもっとよくを基本に実践を進める教師 ・豊かなふれあい、確かな児童理解、きめ細やかな指導を徹底する教師

### 前年度までの学校経営上の成果と課題

- ・オリンピック・パラリンピック教育アワード校や青少年赤十字加盟校、道徳・特別活動を中心とした校内研究や道徳教育推進拠点校等の取組により、ボランティアマインドや自尊感情の向上を図れた。
- ・基礎・基本の定着が十分でない。思考力、表現力で力に個人差がある。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)				
学力向上	授業規律と学習習慣を確立し、基礎・基本を定着させる。	授業規律の定着を図る。	「十二小スタンダード」をもとに、統一した授業ルールで授業を進める。	4 統一した授業ルールを全学級が指導	4 授業ルールが定着した児童が80%以上 (教師評価による)				
				3 統一した授業ルールを14学級以上が指導	3 授業ルールが定着した児童が70～79% (教師評価による)				
				2 統一した授業ルールを12学級以上が指導	2 授業ルールが定着した児童が60～69% (教師評価による)				
				1 統一した授業ルールを11学級以下が指導	1 授業ルールが定着した児童が60%未満 (教師評価による)				
		基礎・基本の定着を図る。	「十二小タイム」や「朝学タイム」等、補充的学習を充実させる。	4 補充的学習を充実させる取組を全学級で実施	4 自己評価で80%以上が効果を実感 (児童・教師評価による)				
				3 補充的学習を充実させる取組を14学級以上で実施	3 自己評価で70～79%が効果を実感 (児童・教師評価による)				
				2 補充的学習を充実させる取組を12学級以上で実施	2 自己評価で60～69%が効果を実感 (児童・教師評価による)				
				1 補充的学習を充実させる取組を11学級以下で実施	1 自己評価で60%未満が効果を実感 (児童・教師評価による)				
健全育成	基本的な生活習慣を確立する。	基本的な生活習慣の定着を図る。	「十二小スタンダード」をもとに、統一した学校生活ルールで指導を進める。	4 統一した学校生活ルールを全学級が指導・振り返り	4 学校生活ルールが定着した児童が80%以上 (教師評価による)				
				3 統一した学校生活ルールを14学級以上が指導・振り返り	3 学校生活ルールが定着した児童が70～79% (教師評価による)				
				2 統一した学校生活ルールを12学級以上が指導・振り返り	2 学校生活ルールが定着した児童が60～69% (教師評価による)				
				1 統一した学校生活ルールを11学級以下が指導・振り返り	1 学校生活ルールが定着した児童が60%未満 (教師評価による)				
	いじめ防止の取組として、思いやりのある児童を育成する。	いじめ・不登校・問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応を図る。	「マイチャレンジカード」の活用(各学期)、いじめ調査の実施(各学期)、校内委員会による組織的対応(定期及び臨時)を行う。	4 具体的方策を全学級で確実に実施	4 実施状況や成果について80%以上が肯定的回答 (児童・教師評価による)				
				3 具体的方策を14学級以上で確実に実施	3 実施状況や成果について70～79%が肯定的回答 (児童・教師評価による)				
				2 具体的方策を12学級以上で確実に実施	2 実施状況や成果について60～69%が肯定的回答 (児童・教師評価による)				
				1 具体的方策を11学級以下で確実に実施	1 実施状況や成果について60%未満が肯定的回答 (児童・教師評価による)				
				特色ある学校づくり	児童、教職員、保護者、地域が誇りにできる学校にする。	開校50周年にあたり、児童、教職員、保護者、地域が一体となり、教育活動を盛り上げる。	研究主題を「大好き！みんなの十二小～感謝を未来につなぐ子どもたち～」とし、周年事業等の教育活動をとおして、感謝や愛着を深める。	4 周年事業等の教育活動を全学級で実施	4 感謝や愛着を深めた児童が80%以上 (児童・教師評価による)
								3 周年事業等の教育活動を14学級以上で実施	3 感謝や愛着を深めた児童が70～79% (児童・教師評価による)
2 周年事業等の教育活動を12学級以上で実施	2 感謝や愛着を深めた児童が60～69% (児童・教師評価による)								
1 周年事業等の教育活動を11学級以下で実施	1 感謝や愛着を深めた児童が60%未満 (児童・教師評価による)								
ボランティアマインドや自尊感情を育てる。	オリンピック・パラリンピック教育推進校や青少年赤十字加盟校としての取組、学級活動の充実を図る。	「十二小学級会スタイル」による話し合い活動を実施するとともに、体験や交流を重視した児童主体の活動を展開する。	4 十二小学級会スタイルによる学級会を全学級で実施	4 主体性や自己有用感を高めた児童が80%以上 (児童・教師評価による)					
			3 十二小学級会スタイルによる学級会を14学級以上で実施	3 主体性や自己有用感を高めた児童が70～79% (児童・教師評価による)					
			2 十二小学級会スタイルによる学級会を12学級以上で実施	2 主体性や自己有用感を高めた児童が60～69% (児童・教師評価による)					
			1 十二小学級会スタイルによる学級会を11学級以下で実施	1 主体性や自己有用感を高めた児童が60%未満 (児童・教師評価による)					
運動の日常化を図り、体力向上を目指す。	運動の励行を促し、継続的に運動に取り組む態度を育てる。	・「長縄チャレンジ(通年)」 「体力向上旬間(外遊び・マラソン・縄跳び)」 「ジョギング大会」「コーディネーションントレーニング」「ラジオ体操」等を行う。	4 休み時間に外遊びをする児童が9割以上	4 運動や体育が好きな児童が90%以上 (児童評価による)					
			3 休み時間に外遊びをする児童が8割以上	3 運動や体育が好きな児童が80～89% (児童評価による)					
			2 休み時間に外遊びをする児童が7割以上	2 運動や体育が好きな児童が70～79% (児童評価による)					
			1 休み時間に外遊びをする児童が7割未満	1 運動や体育が好きな児童が70%未満 (児童評価による)					